

1 令和4年度補正予算（肉付け予算）の概要

◎ 予算編成の基本的な考え方

令和4年度当初予算は、扶助費などの義務的経費や施設管理費などの一般管理費といった経常的経費を中心とした、いわゆる「骨格予算」として編成したため、今回、市長公約を推進するための事業や新規事業、投資的経費などの政策的経費を中心に、いわゆる「肉付け予算」として予算編成を行いました。

予算編成にあたっては、令和4年度当初予算（骨格予算）と同様、以下の3つの基本方針

(1) 『第五次宮崎市総合計画前期基本計画及び

宮崎市地方創生総合戦略の着実な実施』

(2) 『徹底した行財政改革の取組と健全財政の確立』

(3) 『新型コロナウイルス禍への対応と自治体DXの推進』

を踏まえるとともに、市長公約を具現化するための事業の構築を念頭に、予算編成に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症対策等により、6月補正以前に補正予算として計上した「当初補正」「4月補正」「5月補正（5月19日付専決分を除く）」についても「肉付け予算」の一部とし、これらと今回の「6月補正（通常分を除く）」をあわせて「肉付け予算」とすることとしました。

これにより、「肉付け予算」として、一般会計で、19億4,984万円、特別会計、企業会計を含めた全会計で、19億5,534万円を追加した結果、「肉付け後」の令和4年度一般会計の予算規模は、

1,699億4,984万円、対前年度比4.9%の増となりました。

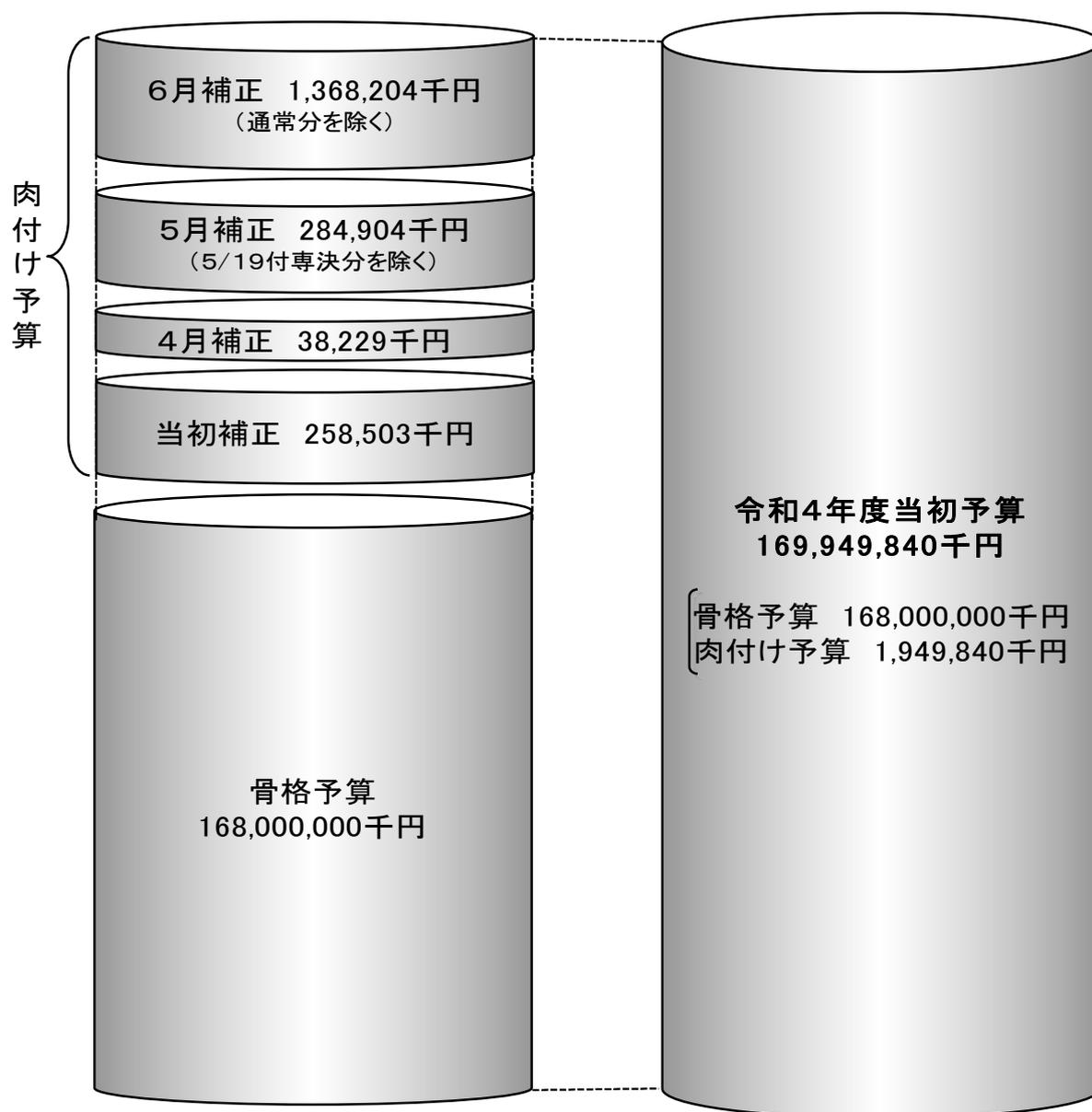
また、特別会計、企業会計を含めた全会計では、

3,140億5,584万円、対前年度比2.6%の増となりました。

【肉付け後の予算規模】

会計区分	令和4年度	令和3年度	伸率
一般会計	1,699億4,984万円	1,620億0,000万円	4.9%
特別会計	1,060億1,900万円	1,069億6,400万円	△0.9%
企業会計	380億8,700万円	370億2,900万円	2.9%
合計	3,140億5,584万円	3,059億9,300万円	2.6%

《令和4年度一般会計当初予算のイメージ》



【主要財政指標】

一般会計予算規模の伸び率	【R3】	△2.3%	→	【R4】	4.9%
地方債の伸び率	【R3】	△6.8%	→	【R4】	△19.7%
一般財源比率	【R3】	59.5%	→	【R4】	56.3% (臨時財政対策債を含む)
地方債依存度	【R3】	9.0%	→	【R4】	6.9%